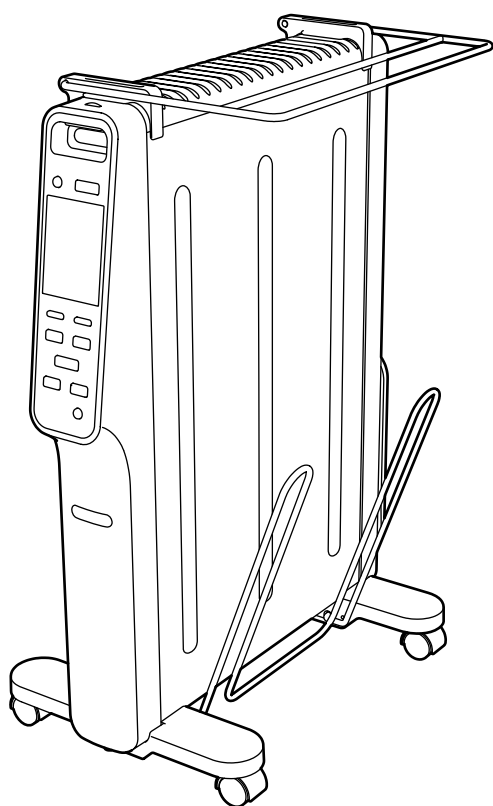


siroca

速暖マイカヒーター SH-M121 取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca 速暖マイカヒーター SH-M121 をご購入いただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を必ずお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、必ず保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

各部のなまえ 4

お使いになる前の準備 6

使いかた

時計の設定 11

暖房運転のしかた 12

タイマー運転 14

その他の機能 18

ご愛用の手引き

お手入れ／保管のしかた... 19

故障かなと思ったら..... 20

部品・消耗品 23

仕様 23

アフターサービス 24

お客様相談窓口 24

保証書 28

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水、お茶などをかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



禁止

スプレーなどの缶や薬品、油、紙類などを本体の近くに置かない

爆発や火災の原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしない

転倒して、けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



覆い掛け禁止

衣類・タオル・ふとん・カバーなどで製品本体を覆わない

火災・故障の原因になります。製品本体のみで、乾燥などの暖房以外の用途には使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない

など
上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



電池の取り扱いには十分注意する

使いかたを誤ると、発熱や破損、けが・やけど・感電の原因になります。

- ・指定以外の電池を使わない
- ・＋と－を逆にして使わない
- ・充電、分解、加熱しない
- ・ショートさせない
- ・火の中に入れたり、加熱しない
- ・水につけたり、ぬらさない
- ・電池から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
- ・長期間使わないときは、電池を取り出す



禁止

電池は子どもの手の届くところに置かない

子どもが電池をなめたり飲み込んだりしないように十分注意してください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

◆ 設置に関する注意事項 ◆



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。

毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

カーテン・ふとんなどの可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



禁止

本体の上に物を載せたり、本体の下に物を置いて使わない

高温により本体や物が変形、変質し、火災の原因になります。



禁止

仰向け、横倒し、逆さまにしない

変形・故障・発火の原因になります。



水ぬれ禁止

屋外や風呂、シャワー室、および水泳プールの周辺部など、水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



ヒーターの移動は必ず本体が冷めてから行う

高温のため、やけどの原因になります。本体が冷めてから、移動してください。



禁止

テーブルや机の下、電源をとるコンセントのすぐ下では使わない

本体の上部をふさぐと、火災・やけどの原因になります。また、ヒーターの熱でコンセントや電源コード・電源プラグが変形、変質し、火災の原因になります。

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

延長コードは絶対に使わない
壁のコンセントは 2 口、3 口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

使用中は、電源コードを束ねたりコードホルダーに巻きつけたままにしない
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。電源コードは残さずコードホルダーから解いてください。



使用中は、電源コードが本体に触れないようにする
熱で電源コードが傷み、ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようにはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、機器に挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードに重いものをのせたり、機器に挟んだりしない

電源コードが傷つき、ショート・感電の原因になります。



犬や猫などのペットの暖房用に使うときは、ガードやカバーなどで、本体・電源コードを必ず保護する

ペットが本体・電源コードを傷つけると、ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

運転中に電源プラグを抜き差ししない
火災・感電の原因になります。



禁止

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない
火災の原因になります。

注意



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、本体に触れない
高温のため、やけどの原因になります。



禁止

家具などの近くで使わない、壁に押しつけない
熱で家具などを傷め、変色・変形の原因になります。壁や家具などから前方・後方 30cm、側方 100cm 以上離して設置してください。また、上方は開放してください。



付属の脚を、正しく取りつけて使用する
落下・転倒により、けがや故障の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

長時間皮膚の同じ箇所をあたためない

低温でも長時間皮膚の同じ箇所を暖めていると、低温やけどの原因になります。



お手入れは本体が冷めてから行う

高温部に触れると、やけどの原因になります。使用後は、本体が冷めるまで約 30 分かかります。



リモコンの電池を廃棄するときは、各自自治体の指示に従い処分する

そのまま廃棄すると思わぬ事故の原因となります。



禁止

リモコンは、直射日光のあたるところやヒーターの放熱部の近くなど、高温になる場所に放置しない
やけど・けがの原因になります。



禁止

リモコンに液状のものをかけたり、落したり、踏んだりしない
故障の原因になります。

各部のなまえ

本体（前面）

運転ランプ

- 点灯（赤）：暖房運転中
- 点灯（白）：タイマー予約中
- 消灯：暖房運転停止

取っ手

操作パネル
(⇒5ページ)

ストッパー

キャスター

脚

本体（後面）

取っ手

リモコン収納部

※ リモコンを使用しないときは、本体に収納できます。

※ 収納の際は、リモコンの上下の向きが決まっています。

主電源



コードホルダー

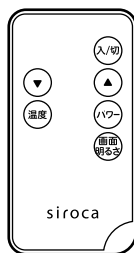
電源コード

コードクリップ

電源プラグ

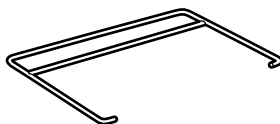
付属品

リモコン



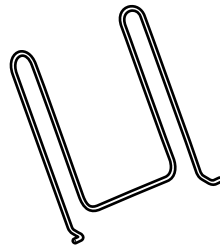
※ リモコンのボタンは、本体のボタンと同じ名称です。本体のボタンと同じ操作ができます。

タオルハンガー



※ 取り付けかたは、7 ページを参照してください。

シューズハンガー

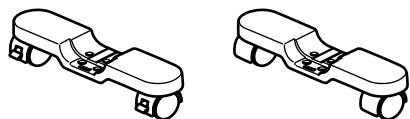


※ 取り付けかたは、8 ページを参照してください。

ベース（2 個）



脚（2 個）

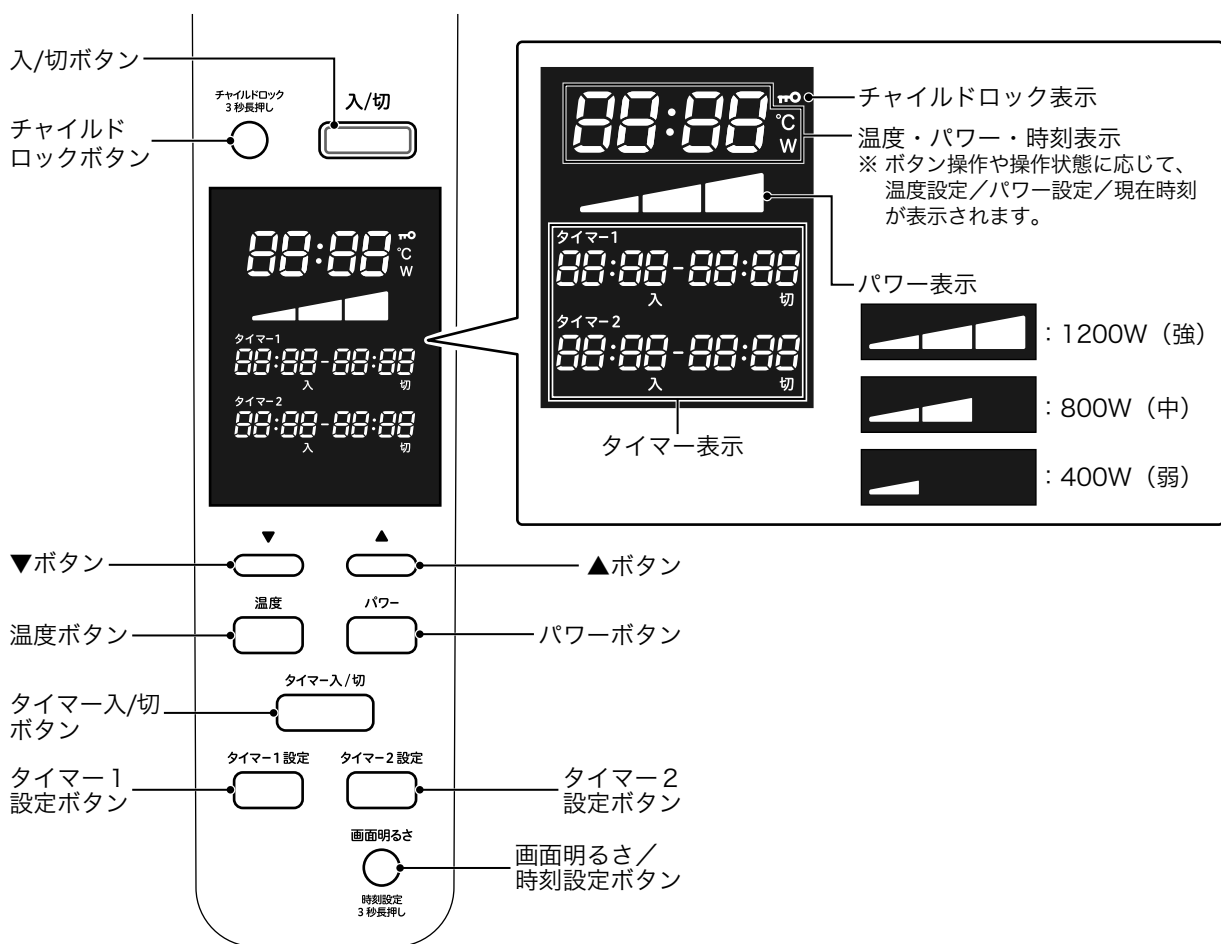


※ストッパー付き ※ストッパーなし

固定用ネジ（4 本）



操作パネル／画面



各部のなまえ

過熱防止装置の働き

この製品には、過熱防止装置がついており、本体が過熱すると、自動的に温度調整し、過熱しないようにします。また、異常過熱により温度調整範囲を超えると、自動的に電源が切れるようになっています。電源が切れたときは、サポートセンターまでお問い合わせください。

転倒時自動電源遮断装置の働き

この製品には、転倒時自動電源遮断装置がついており、運転中に本体が倒れたり、傾いたりすると、自動的に運転が停止します。本体の傾きを戻してから、入/切ボタンを押すと、再び電源が入ります。

お使いになる前の準備



※ 付属品（脚、タオルハンガー、シューズハンガー）を取りつけるときは、安全のため次のことをお守りください。

- ・ 周囲にもものがない、平らな広い場所で作業を行う。
- ・ 床面の傷つきを防ぐため、タオルなどの柔らかいものを敷いて作業する。
- ・ 手袋をはめて作業する。
- ・ 1人で作業する場合は、作業中に本体が倒れたりしないようにしっかりと固定する。
- ・ お子さまがいるところでは作業しない。

脚を取りつける



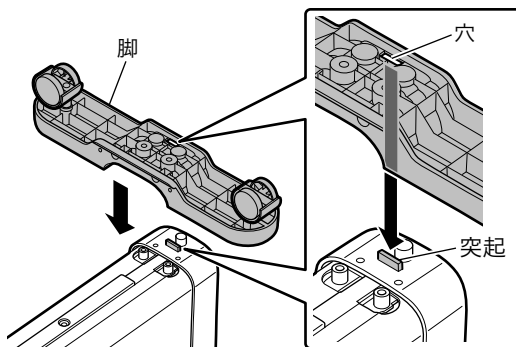
※ 脚は必ず取りつけてください。転倒による破損やけがの原因となります。

1 タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体底部を上に向けて置く

- 本体を床に直接置くと、床に傷がつく原因になります。

2 本体底部に脚をはめ込む

- ストッパーのあるキャスターは、操作パネル側に取りつけてください。

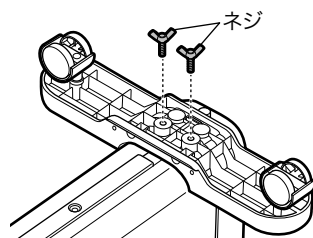


3 ネジで固定する

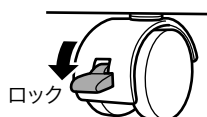
- ネジで固定した後、キャスターが下になるように本体を立てたら、脚にゆるみやガタつきがないことを確認してください。



※ ご使用になるうちに、ネジがゆるんでくる場合があるため、定期的に確認してください。



- 設置の際は、ストッパーを下に押し下げて、キャスターをロックできます。移動する場合、ストッパーを上に戻し、キャスターのロックを解除してください。

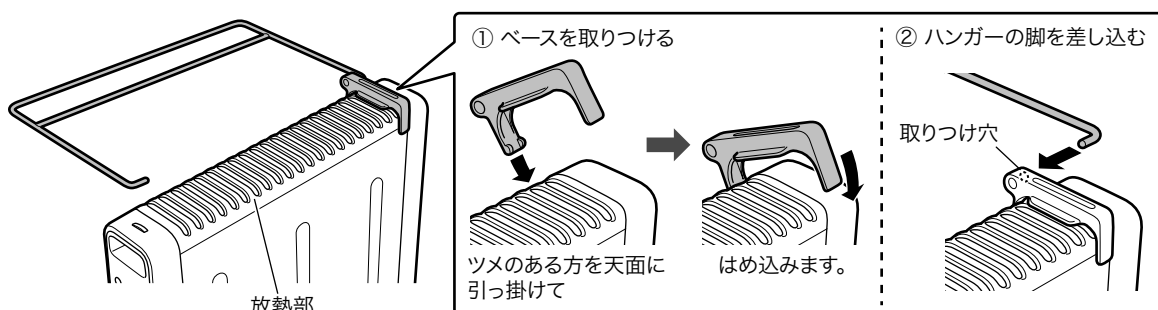


タオルハンガーを取りつける

付属のタオルハンガーは、必要に応じて取りつけてください。

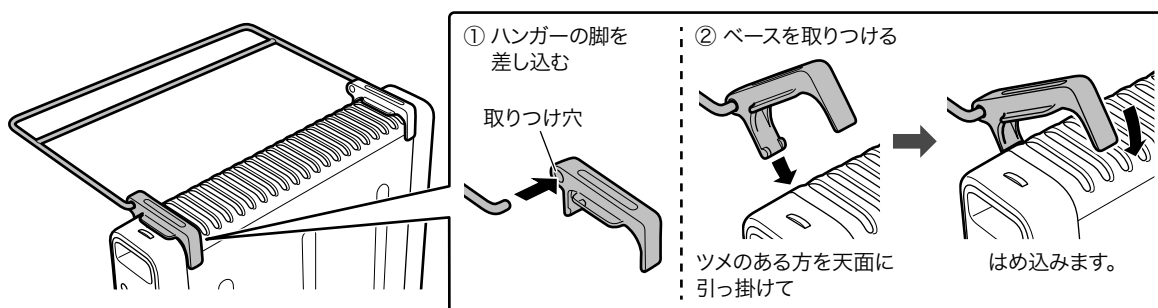
1 ベースを1つだけ、本体天面の片側に取りつけ、取り付け穴にハンガーの脚を差し込む

- ベースは、本体天面の放熱部の端に取りつけます。しっかり押し込んでください。
- 取り付け穴の向きを変えることで、本体側面のどちら側にもタオルをかけることができます。ここでは、本体の右側面にタオルをかける場合で説明しています。



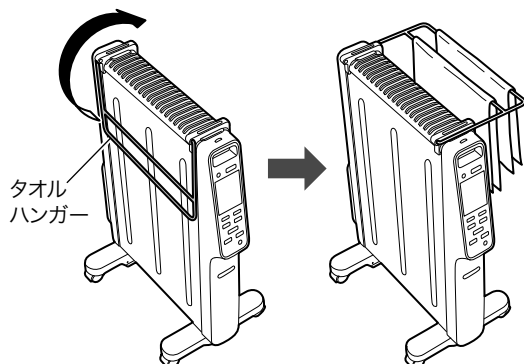
2 もう1つのベースの取り付け穴にハンガーの脚を差し込んだら、本体天面の片側に取りつける

- ベースを取りつけるときに、タオルハンガーがはずれないようにハンガーの脚をしっかりと持ってください。
- ベースを取りつけた後、ベースが本体天面の内側にずれている場合は、放熱部の端に合うように位置を調整してください。



タオルハンガーを使う

ご使用時は、ハンガー部分を回転させて本体天面で固定します。



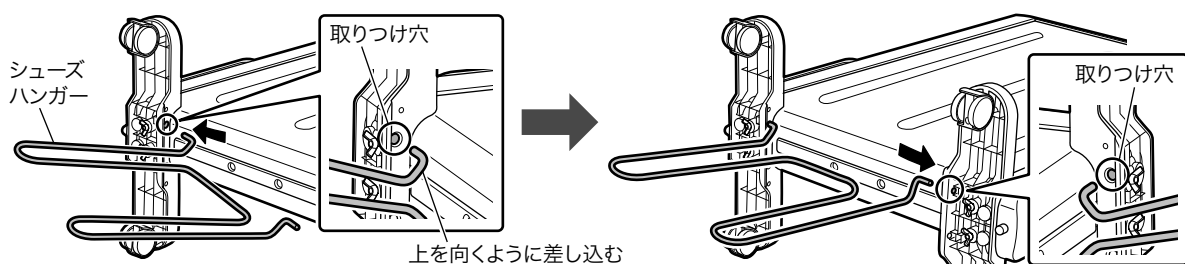
- ※ タオルハンガーは、水洗いしたタオル（織物）の乾燥だけに使用してください。
- ※ タオルはよく絞ってからかけてください。本体に水がかかると故障の原因になります。
- ※ 次のような物は絶対に乾燥しないでください。
発火・火災の原因になります。
 - ・油がついた物（美容オイル、食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油など）
 - ・化学繊維製品（セルロース系クロスなど）
- ※ 重いものをかけないでください。本体が転倒し、破損・けがの原因になります。
- ※ ヒーター全体を覆う使いかたはしないでください。
火災・故障の原因になります。

お使いになる前の準備

シューズハンガーを取りつける

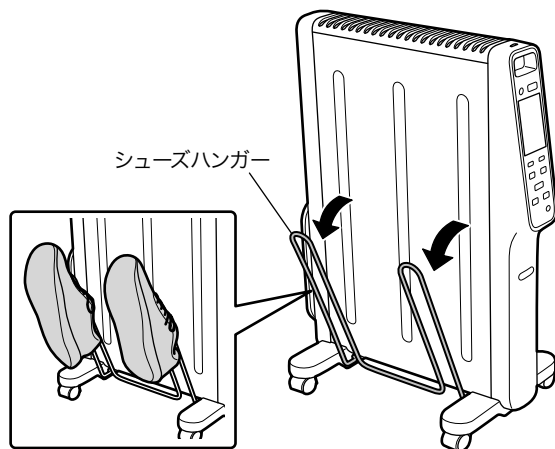
付属のシューズハンガーは、必要に応じて取りつけてください。

- 1
本体に脚を取りつける
● 取り付けかたは、6 ページを参照してください。
- 2
タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体を横に倒す
● 本体を床に直接置くと、床に傷がつく原因になります。
- 3
シューズハンガーの先端を、脚の内側の取り付け穴に差し込む
● 片側の先端を先に差し込んだ後、もう片側の先端を押さえながら、差し込みます。



シューズハンガーを使う

ご使用時は、ハンガー部分を倒します。使用後は元に戻してください。



- ※ シューズハンガーは、水洗いした靴の乾燥だけに使用してください。
- ※ 靴の水気をよくふき取ってから、シューズハンガーにかけてください。本体に水がかかると故障の原因になります。
- ※ 次のような物は絶対に乾燥しないでください。発火・火災の原因になります。
 - ・ 油がついた物（美容オイル、食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油など）
 - ・ 化学繊維製品（セルロース系クロスなど）
- ※ 重いものをかけないでください。本体が転倒し、破損・けがの原因になります。
- ※ 革靴の乾燥はしないでください。変色や型くずれの原因になります。

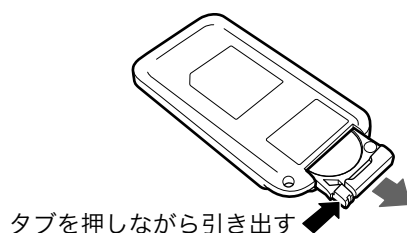
リモコンを使うときは

お買い上げ時は、動作確認用の電池が入っています。フィルムを引き抜いてからお使いください。

リモコンの電池を取り替える

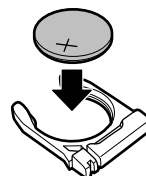
本体がリモコンの操作を受け付けなくなったときは、市販の新しいボタン型電池（CR2025）と交換してください。

- 1 リモコンを裏返し、右図のタブを押しながら電池トレイを引き出す



- 2 古い電池を新しい電池に交換する

- 印字面（+側）を上向きにしてボタン型電池を電池トレイに入れます。



- 3 電池トレイをリモコンに入れる



※ 電池の誤飲を防ぐため、乳幼児のいるところでリモコンの電池交換をしたり、リモコンを放置したりしないでください。

お使いになる前の準備

設置場所について



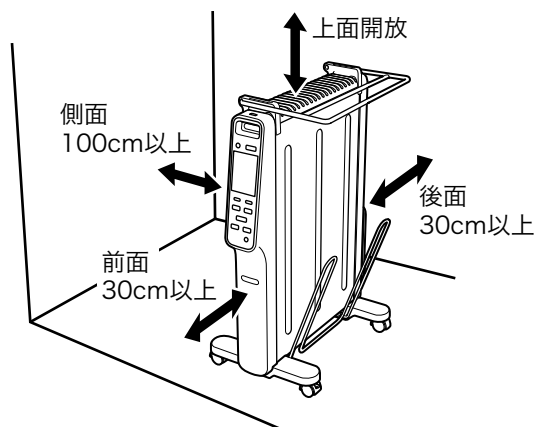
※ ホットカーペットや床暖房の上では使用しないでください。温度センサーが正しく働かず、誤作動の原因になります。

※ 本体を移動する際は、ストッパーのロックを解除し、取っ手を持ってゆっくり移動するか、本体を持ち上げて移動してください。床面が傷つく場合があります。

必ずお守りください

ヒーターは、壁や家具などの周囲の可燃物から右図の距離を離して、設置してください。

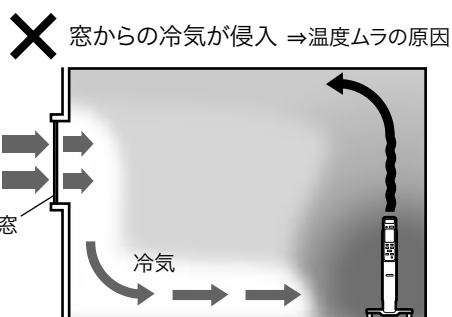
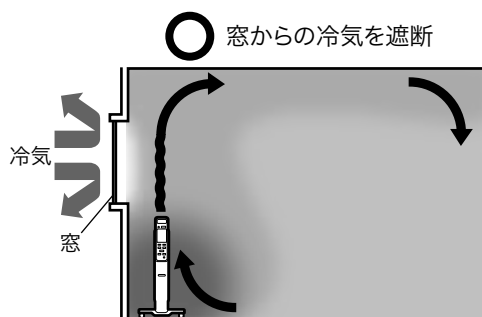
※ タオルハンガー、シューズハンガーを取りつけない場合も、右図の距離を離して、設置してください。



効果的にあたためるためのポイント

設置場所

窓際や、外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気によって冷気の侵入を抑え、お部屋全体をムラなくあたためます。



より効果的にお部屋をあたためるには

- 厚手のカーテンを付けて、冷気の侵入を防ぐ。
- ドアを開閉する回数を減らすことで、冷気の侵入を抑える。
人の出入りが少ない寝室などでのご使用がおすすめです。
- お部屋全体があたまるまでの間は、エアコンなどの他の暖房器具を併用する。

時計の設定

工場出荷時、時計は「00：00」に設定されています。本製品は、電源プラグをコンセントに差し込むと時計のカウントが開始されますので、はじめに時計を設定することをおすすめします。

また、タイマーを使用するには、時計の設定が必要です。



※ 設定中にボタン操作をしない状態が約 30 秒続くと、時計の設定モードが終了します。
設定途中の時刻は反映されませんので、再度、手順 2 から設定をやり直してください。

1

電源プラグをコンセントに差し込み、本体後面の主電源を入れる

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

2

「時刻設定」ボタンを 3 秒以上長押しする

- 「時」が点滅し、時計の設定モードに切り替わります。
次の手順に進みます。



3

▲ボタンまたは▼ボタンで、「時」を合わせる

- ボタンを長押しすると、数字が早く変わります。



4

「時」を合わせたら、「時刻設定」ボタンを押す

- 「分」が点滅し、「分」の設定モードに切り替わります。
次の手順に進みます。



5

▲ボタンまたは▼ボタンで、「分」を合わせる

- ボタンを長押しすると、数字が早く変わります。



6

「時刻設定」ボタンを 3 秒以上長押しして、設定を完了する

- 「分」の点滅が点灯に変わり、時計の設定が終了します。



設定内容の記憶保持について

※ 主電源を切った状態が約 1 週間続くと、時計の設定はリセットされて工場出荷状態「00：00」に戻ります。

暖房運転のしかた



※ 電源コードはコードホルダーから解いて、お使いください。

※ 使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。

※ たこ足配線や延長コードの使用は、絶対にしないでください。発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。壁のコンセントは2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。

※ 付属の脚は必ず取りつけてください。転倒による破損やけがの原因になります。

※ 10 ページを参照し、壁や家具から適切な距離をあけて設置してください。

暖房運転を始める

1 本体の主電源が切れていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

2 本体後面の主電源を入れる

- 画面に現在時刻が表示されます。



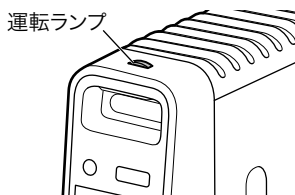
電源オン



※ 現在時刻が 10:00 の場合

3 「入/切」ボタンを押して、運転を開始する

- 本体の運転ランプが赤色に点灯して、暖房運転が始まります。



4 暖房運転の設定をする

- お好みで、「パワー」と「温度」の運転モードから選んでください。お買い上げ時は、「温度」モード 20℃に設定されています。

パワー

選択したパワー（暖房の強さ）で、連続運転します。

- ① 「パワー」ボタンを押します。
- ② ▲ボタンまたは▼ボタンで、1200W（強）／800W（中）／400W（弱）から希望のパワーを選択します。



温度

設定温度と周囲温度の差により、パワーを自動で切り替えながら運転します。あたためすぎを防ぐため、「パワー」運転よりも経済的です。

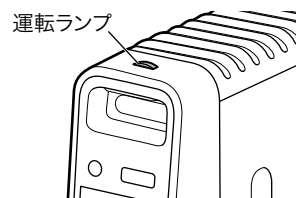
- ① 「温度」ボタンを押します。設定温度が表示されます。
- ② ▲ボタンまたは▼ボタンで、温度を選択します。
選択範囲は、14℃～28℃です。



暖房運転を終了する

1 「入/切」ボタンを押して、運転を停止する

- 運転ランプ（赤）が消灯して、画面に現在時刻が表示されます。
- タイマー予約中は、運転ランプは白色の点灯に変わります。



2 本体後面の主電源を切る

- タイマー運転時は、主電源を切らないでください。

3 本体が冷めてから、電源プラグをコンセントから抜く

- 使用後は本体が冷めるまで約 30 分かかります。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

暖房運転のしかた



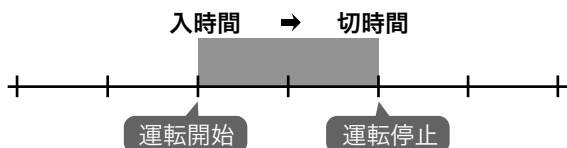
設定内容の記憶保持について

※ 主電源を切った状態が約 1 週間続くと、暖房運転の設定内容はリセットされて工場出荷状態に戻ります。（工場出荷時の設定は、18 ページを参照）

タイマー運転

本製品のタイマーについて

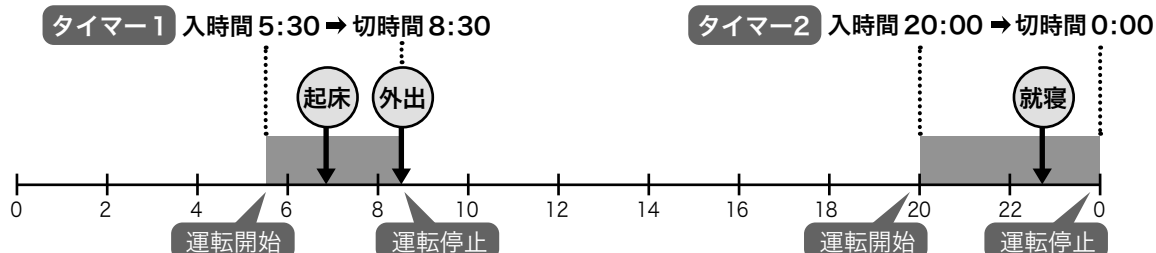
- 1つのタイマーで、運転開始の時刻（入時間）・運転停止の時刻（切時間）が設定できます。
入時間と切時間は、15分刻みで設定できます。
- タイマー運転は、一度予約すれば毎日くり返します。
- タイマー1／タイマー2の2パターンが使用できます。
2つのタイマーは、同時に使用することもできます。
※ 運転の時間帯が重なっている場合、2つのタイマーを同時に予約することはできません。
- 入タイマー／切タイマーとしても使用することができます。
入タイマー：設定した時刻になると自動で運転が開始します。運転停止は手動で行います。
切タイマー：運転中に、設定した時刻になると自動で運転が停止します。



タイマーの活用例

タイマーを使用すれば、起床や就寝などの毎日の生活パターンにあわせて、お部屋を上手にあたためておくことができます。以下に活用例をご紹介します。

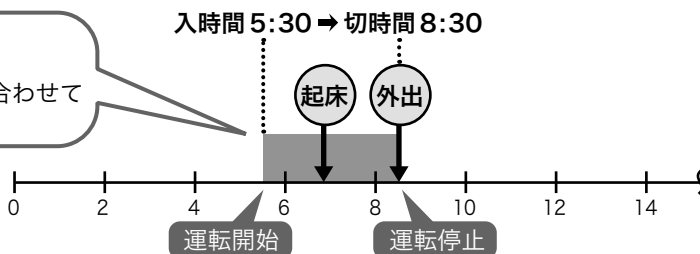
例1：起床時間と就寝時間に合わせてお部屋をあたためておきたいとき



例2：朝のタイマー運転を、平日と休日で使い分けたいとき

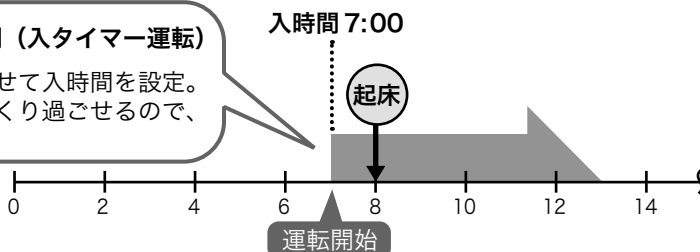
タイマー1：平日の朝

起床時間と外出時間に合わせて運転時間を設定



タイマー2：休日の朝（入タイマー運転）

休日の起床時間に合わせて入時間を設定。起床後はお部屋でゆっくり過ごせるので、手動で運転を停止



タイマー運転のしかた



※ タイマー設定の途中で、ボタン操作をしない状態が約 30 秒続くと、設定モードが終了します。
設定をやり直す場合は、手順 2 または手順 3 をはじめてから行ってください。

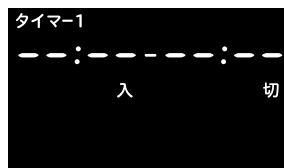
1 本体の主電源を入れる

2 時計の設定をする

● タイマー運転には、本体の時計の設定が必要です。11 ページを参照して、時計を設定してください。

3 タイマー 1 を設定する

- ① 「タイマー入 / 切」 ボタンを押して、タイマー 1 を表示させる。
※ タイマー 2 が表示されていたら、「タイマー入 / 切」 ボタンをくり返し押して、タイマー 1 だけ表示させてください。



入時間・切時間の設定

※ 入タイマー・切タイマーを設定するときは、17 ページを参照してください。

- ② 「タイマー 1 設定」 ボタンを押して、設定モードに切り替える。
入時間の「時」が点滅します。
- ③ ▲ボタンまたは▼ボタンで入時間の「時」を設定したら、「タイマー 1 設定」 ボタンを押して確定する。
入時間の「分」が点滅します。「分」の設定に進みます。
- ④ ▲ボタンまたは▼ボタンで入時間の「分」を設定したら、「タイマー 1 設定」 ボタンを押して確定する。
切時間の「時」が点滅します。切時間の設定に進みます。
- ⑤ 手順③～④の操作をくり返し、切時間を設定する。
切時間を確定すると、温度または電力表示が点滅し、暖房運転の設定に進みます。



運転モードの設定

- ⑥ 「パワー」 ボタンまたは「温度」 ボタンを押して、運転モードを選択する。
運転モードについて詳しくは、12 ページを参照してください。
- ⑦ ▲ボタンまたは▼ボタンでパワーまたは温度を設定する。
- ⑧ 「タイマー 1 設定」 ボタンを押して、設定を終了する。
または、操作せずに約 30 秒待つと、自動的に設定が終了します。

タイマー 1 のみ使用する場合、これでタイマー設定・予約完了です。
タイマー 2 も使用する場合、手順 4 以降の操作も行ってください。



※ 「パワー」モードの
設定画面の場合



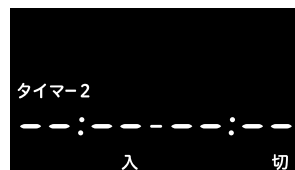
※ 設定完了後の画面

タイマー運転

4

タイマー 2 を設定する（タイマー 2 を使用しないときは、この手順は不要です）

- ① 「タイマー入 / 切」 ボタンを押して、タイマー 2 を表示させる。
※ タイマー 1 が表示されていたら、「タイマー入 / 切」 ボタンを
くり返し押して、タイマー 2 だけ表示させてください。



入時間・切時間・運転モードの設定

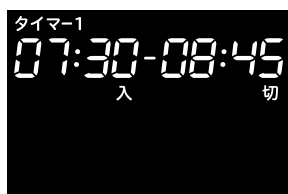
- ② 「タイマー 2 設定」 ボタンを押して設定モードに切り替える。
設定のしかたは、タイマー 1 と同じです。手順 3 の③～⑧と同じ要領で行ってください。

5

タイマーを予約する

あらかじめ設定しておいたタイマーを運転させるには、次の操作を行います。

- ① タイマーを予約するには、「タイマー入 / 切」 ボタンを押して、希望のタイマーを表示させます。ボタンを押すごとに、タイマーの組み合わせが切り替わります。



タイマー 1 を予約



タイマー 2 を予約



タイマー 1 とタイマー 2 を予約

※ タイマー 1 とタイマー 2 の運転時間帯が重なっている場合、タイマー 1 とタイマー 2 を同時に予約することはできません。詳しくは、17 ページの「2 つのタイマーを同時に予約する場合のご注意」を参照してください。

- ② タイマーを予約すると、運転停止中（タイマーの待機中）は、運転ランプが白色に点灯します。
タイマー運転が始まると赤色の点灯に変わります。



※ タイマー予約後は、主電源を切らないでください。タイマー運転が実行されません。

タイマー予約を切り替える・解除する

タイマー予約を切り替える

運転するタイマーを切り替えたいときは、上記の手順 5 の操作を行ってください。

すべてのタイマー予約を解除する

タイマー 1 とタイマー 2 の両方の表示が消えるまで、「タイマー入 / 切」 ボタンをくり返し押します。



設定内容の記憶保持について

※ 主電源を切った状態が約 1 週間続くと、タイマーの設定内容はリセットされて工場出荷状態に戻ります。（工場出荷時の設定は、18 ページを参照）

入タイマー／切タイマーで運転するには

タイマーの設定のしかた・予約のしかたは、通常のタイマーと同様です。詳しい操作方法については、15 ページを参照してください。

入タイマー／切タイマーで運転する場合は、入時間と切時間を次のとおりに設定してください。

入タイマーの設定

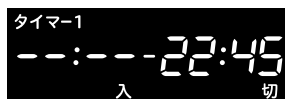
- ① 入時間は、運転を開始したい時刻に設定します。
- ② 切時間は、時刻を未設定（--：--）にします。



※ 入タイマーを 7：30 に設定した場合

切タイマーの設定

- ① 入時間は、時刻を未設定（--：--）にします。
 - ② 切時間は、運転を停止したい時刻に設定します。
- ※ 切時間を設定すると、タイマー設定は完了です。
暖房運転の設定操作はありません。

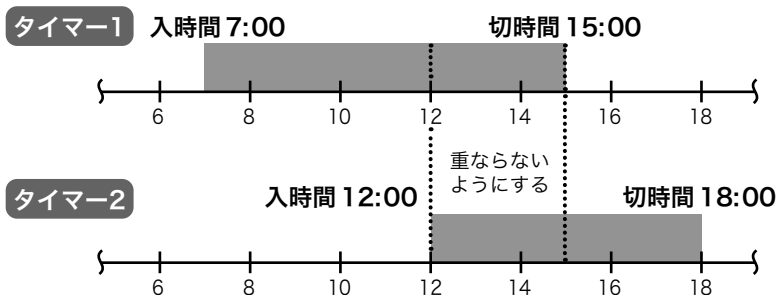


※ 切タイマーを 22：45 に設定した場合

2つのタイマーを同時に予約する場合のご注意

タイマー 1 とタイマー 2 を同時に予約する場合は、運転時間が重ならないように設定してください。運転時間が重なると、タイマー 1 とタイマー 2 の同時予約ができない、または、タイマーが正しく動作しない原因となります。

運転時間帯が重なっている設定例

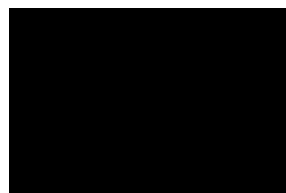


運転時間が重なっている状態でタイマー 1 とタイマー 2 を同時予約すると、点滅表示のあと予約が解除されます。



※ タイマー 1 とタイマー 2 が点滅

30 秒後



※ 予約解除

その他の機能

チャイルドロック

子どもが誤ってボタンを押してしまっても動作させないように、操作パネルのボタンをロックします。

チャイルドロックをかける

主電源を入れた状態で「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押しします。画面に **mo** が表示されて、チャイルドロックがかかります。

- 暖房運転中、運転停止中の両方とも、チャイルドロックを設定できます。
- チャイルドロックがかかっている場合でも、リモコンでの操作は可能です。



※ 主電源を切った状態が約1週間続くと、チャイルドロックは解除されます。

チャイルドロックを解除する

画面の **mo** が消えるまで、「チャイルドロック」ボタンを長押しします。

画面の明るさ調整

主電源を入れた状態で「画面明るさ」ボタンを押します。ボタンを押すごとに、画面の明るさが、強⇒弱⇒消灯の順に切り替わります。希望の明るさになるまで、ボタンをくり返し押してください。



※ 画面の明るさを「弱」または「消灯」に設定中は、ボタン操作中だけ画面の明るさが「強」になります。ボタン操作のない状態が約30秒経過すると、元の設定に戻ります。

本体の設定をリセットする

すべての設定がリセットされて、工場出荷状態に戻ります。

リセットするには、運転を停止している状態で、「パワー」ボタンと「温度」ボタンを同時に5秒以上押しつづけます。

● 工場出荷時の設定

運転モード	温度
設定温度	20℃
タイマー入/切	タイマー1の予約：解除 タイマー2の予約：解除
現在時刻	00:00
画面明るさ	強

お手入れ／保管のしかた



- ※ お手入れや保管は、電源を切って本体が冷めた後（約 30 分後）に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- ※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。故障の原因になります。
- ※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

お手入れする（本体・タオルハンガー・シューズハンガー）

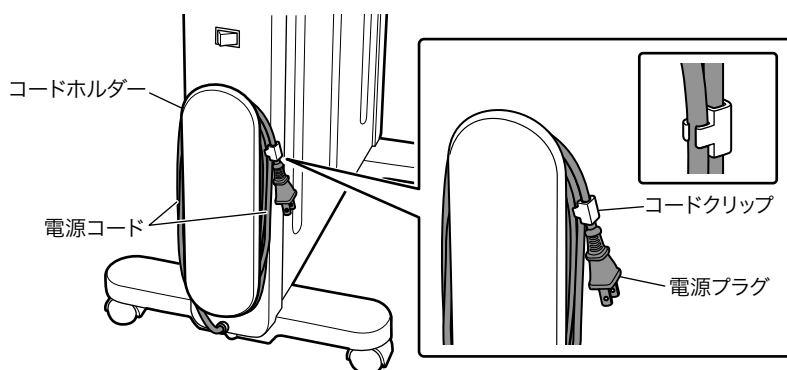
- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞ってふいてください。
- 本体や壁・床とのすき間にたまったほこりは、定期的に掃除機で吸い取ります。

保管する

1
保管する前に、本体、タオルハンガー、シューズハンガーのお手入れをする

2
電源コードとプラグを収納する

- コードホルダーに電源コードを軽く巻きつけた後、コードクリップで電源プラグを固定してください。



※ 電源コードを収納する際は、次のことをお守りください。電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

- ・ 電源コードをコードホルダーに、きつく巻かない。
- ・ 電源コードやプラグを無理に引っ張ったり曲げたりしない。

3
保管する

- 購入時の包装箱に入れるか、または、ポリ袋などをかぶせて、ほこりや湿気の少ないところで保管してください。



※ 箱に入れない場合、脚は必ず取りつけた状態で収納してください。転倒による破損やけがの原因となります。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	主電源が○側（電源オフ）になっていませんか。	本体後面の主電源を 一側に押して、電源を入れてください。
	停電していませんか。	運転中に停電した場合は、本体の主電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。停電復帰後に、再び運転を再開してください。
	本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。	転倒時自動電源遮断装置が働き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いて、お使いください。
	本体周囲の温度が高くなっていませんか。	過熱防止装置が働き、自動的に電源が切れている場合があります。電源が切れたときは、サポートセンターまでお問い合わせください。
	チャイルドロックが設定されていませんか。	画面に mo が表示されている場合は、「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押しして、チャイルドロックを解除してください。
タイマーが動作しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	主電源が○側（電源オフ）になっていませんか。	本体後面の主電源を 一側に押して、電源を入れてください。
	タイマーの設定内容がリセットされていませんか。	主電源を切った状態が約1週間続くと、タイマー設定がリセットされますので再度設定しなおしてください。
タイマーの入時間・切時間になっても正しく運転しない。	本体の時計が正しく設定されていますか？	時計を設定しなおしてください。
タイマー1とタイマー2の同時予約ができない。	タイマー1とタイマー2の運転時間が重なっていませんか。	タイマー1とタイマー2の運転時間帯が重なっている状態で、タイマー1とタイマー2を同時に予約することはできません。17ページの「2つのタイマーを同時に予約する場合のご注意」を参照し、タイマー設定を変更してください。
自動で運転が停止する。	操作を行わない状態で、暖房運転が8時間経過していませんか。	手動の暖房運転や、入タイマーで暖房運転しているときに、操作しないままの状態でも8時間経過後は自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、「入/切」ボタンを押してください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方
本体のボタンで操作ができない。	チャイルドロックが設定されていますか。	画面に  が表示されている場合は、「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押しして、チャイルドロックを解除してください。
チャイルドロックが働かない。	リモコンで操作していませんか。	本製品のチャイルドロックは、本体の操作パネルのボタンをロックします。チャイルドロックがかかっている場合、リモコンでの操作は可能です。
運転中にこげたにおいがする。	使いはじめたばかりではありませんか。	はじめてお使いになるときに、新製品特有のにおいがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、気にならなくなります。
運転中や操作中に「カチッ」と音がする。	本体内部でヒーターが入切するときにカチッと音がなります。異常ではありません。	
使用中、電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。	たこ足配線を使っていますか。	たこ足配線の使用を中止してください。たこ足配線を使って他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
	電源プラグが抜けかけていませんか。	電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
	差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。	コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
	電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていないですか。	使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
	電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。	定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
	コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。	サポートセンターに、修理・交換を依頼してください。

故障かなと思ったら

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
部屋があたたまらない。 ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって、あたたまり具合は異なります。	温度モードで運転時、設定温度が低すぎませんか。	温度モードで運転時、設定温度が室内の温度より低い場合は自動的に暖房運転が停止します。 ▲ボタンで設定温度を上げてください。
	パワーモードで運転時、暖房の強さが低く設定されていませんか。	外気温やお部屋の広さなどの使用環境によっては、お部屋があたたまりにくい場合があります。 ▲ボタンで暖房の強さを上げてください。
	ヒーターをドア（出入口）付近に設置していませんか。	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に設置してください。また、窓の近くで発生する冷気の侵入を防止するには、窓の下付近に設置するのが効果的です。
リモコンで操作できない。	本体に向けて操作していますか。	リモコンを本体の操作パネルに向けて操作してください。
	電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。 ⇒電池の交換については、9ページの「リモコンの電池を取り替える」を参照してください。
	電池の入れかた（+と-の方向）が間違っていないですか。	電池を正しい向きで入れ直してください。
	本体とリモコンの間に障害物はありませんか。	障害物を取りのぞいてください。
操作パネルの画面が暗い。 画面に何も表示されない。	明るさ調整で、操作パネルが「弱」または「消灯」に設定されていませんか。	操作パネルの明るさを調整してください。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

部品名	部品コード
リモコン	SH-M111RC-W (ホワイト) SH-M111RC-K (ブラック)
脚セット	SH-M111FT-W (ホワイト) SH-M111FT-K (ブラック)
タオルハンガーセット	SH-M121TH
シューズハンガー	SH-M121SH

仕様

品名 (型番)	速暖マイカヒーター (SH-M121)
電源	交流 100V 50/60Hz
消費電力	1200W (強 1200W / 中 800W / 弱 400W)
外形寸法	幅 28.8× 奥行 48.5× 高さ 63.8cm (脚含む)
質量	4.2kg (タオルハンガー・シューズハンガー含まず)
電源コードの長さ (約)	1.8m
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、過熱防止装置
付属品	脚 (ストッパー付き 1 個、ストッパーなし 1 個)、固定用ネジ (4 本)、タオルハンガー、ベース (2 個)、シューズハンガー、リモコン (電池付き)
対応畳数 (目安)	10 畳 (自社実験による。試験条件: 新省エネルギー基準 外気温 5℃ 5 面接触) 暖房する部屋の諸条件 (断熱材や位置など) によって、あたため具合は異なります
原産国	中国

部品・消耗品

仕様



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用の速暖マイカヒーターの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社 (以下「弊社」) は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この速暖マイカヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈シロカサポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10:00～17:00（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
インターネットでのお問い合わせ：ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

〈シロカサポートストア〉 <https://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。
サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp